

平成26年5月12日
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

コンピュータソフトウェア協会、データサイエンティストの定義を公表

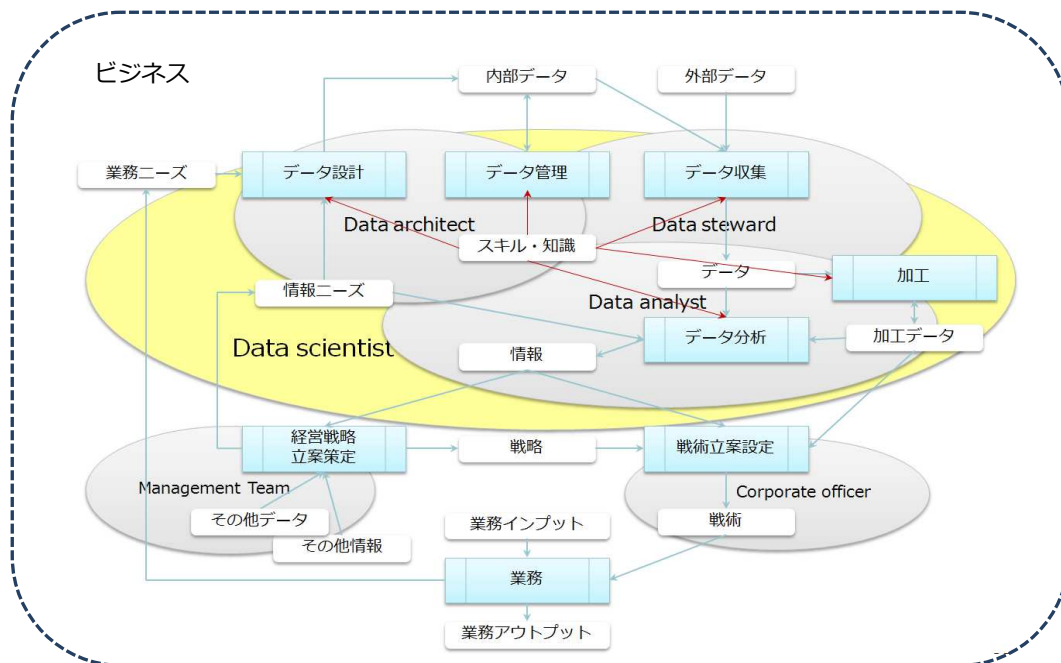
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）データサイエンティスト育成研究会（主査：昆凡子、株式会社シムコス会長）は、「データサイエンティスト」育成のベースとなる定義や枠組み、考え方をまとめました。今後はこの成果を基に、情報サービス業界視点で捉えたデータサイエンティスト育成のための具体的な教育プログラムの開発を目指すほか、データサイエンティスト事例集をとりまとめます。

■データサイエンティストの定義

「ビジネスにおいて、競争優位性をもたらすために、
データの収集・加工・分析に優れた専門性を発揮し、知見を引き出す人材」

■データサイエンティストの位置付け

研究会として定義したデータサイエンティストは、これまで様々な局面で定義されて来たデータアーキテクト、データスチュアート、データアナリストなどを包括するような人材像となりました。



このほか、データサイエンティストの職務、タスクの定義、求められる知識とスキル、データサイエンティスト育成プログラムの概要についてまとめています。

■参考資料

- ・添付資料1、添付資料2、添付資料3
- ・平成25年度データサイエンティスト育成研究会報告書（PDF）
http://www.csaj.jp/publish/h25/140331_dscientist.pdf

■本ニュースリリースの掲載場所

http://www.csaj.jp/release/14/140512_csajrelease.pdf

■一般社団法人コンピュータソフトウェア協会とは

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（以降、CSAJ と略す）は、コンピュータソフトウェア製品に係わる企業が集まり、ソフトウェア産業の発展に係わる事業を通じて、我が国産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。CSAJ は、「会員・業界活動」、「プライバシーマーク審査」、「認定試験」、「PSQ 認証」のほか、政策提言、ベンチャー支援、ビジネスアライアンス、知的財産保護、税制改正要望、人材育成、国際交流など、さまざまな活動を通じて、ソフトウェア産業の発展に貢献しています。

■データサイエンティスト育成研究会とは

CSAJ の研究会として、会員企業を中心としたメンバーに一部有識者を加え、平成25年10月に発足。情報サービス業界視点で「データサイエンティスト」を定義するところから活動を始め、月に1度のペースで研究会を開催しています。

なお、本件に関するお問い合わせは下記連絡先までお願い致します。

■問い合わせ先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 E-mail : gyoumu1@csaj.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル 4階
TEL : 03-3560-8440 FAX : 03-3560-8441 <http://www.csaj.jp/>

添付資料 1

データサイエンティスト育成研究会は、データサイエンティストを定義し、その職務、タスク、職務に求められる知識とスキルを定義した。またデータサイエンティスト育成プログラムの概要を取りまとめた。
研究内容は、以下のとおり。

<目的>

- **情報システム（情報サービス）業**が、ビジネスにおいてイニシアティブを取るためのデータサイエンティスト像を明確にし、その育成について概要を定める。

<方法>

目的を達成する為の方法として、下記を定義した。

- データサイエンティストの定義
- データサイエンティストの位置付け
- データサイエンティストの職務
- 職務とタスクの定義
- 職務に求められる知識とスキル
- データサイエンティスト育成プログラムの概要

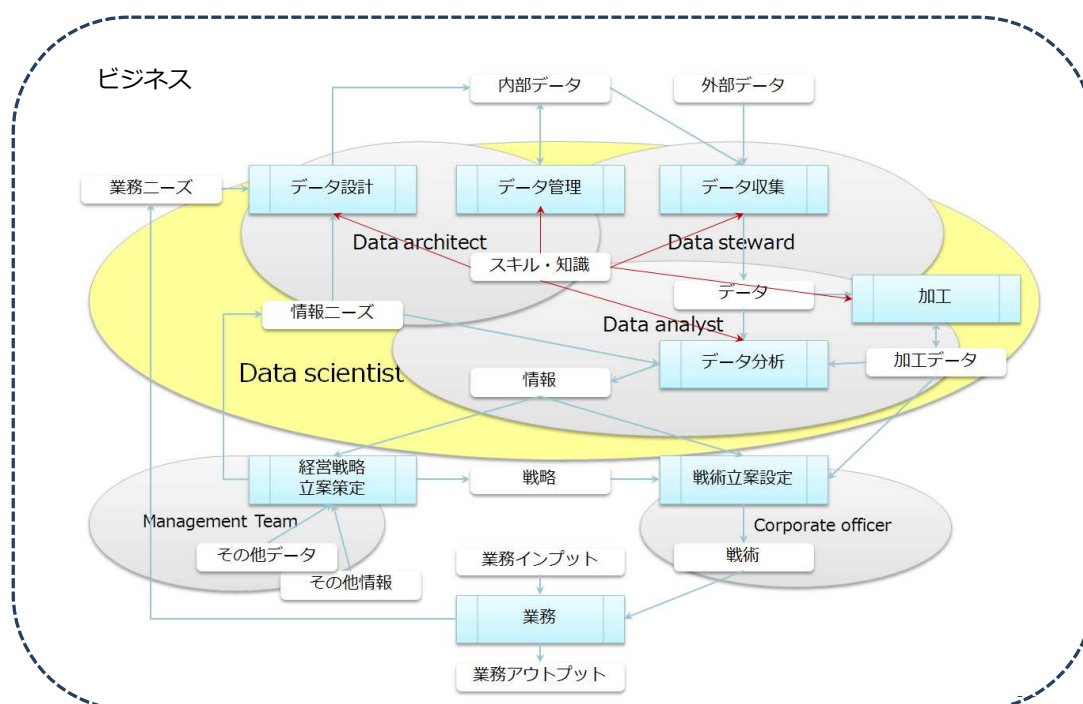
<データサイエンティストの定義>

「ビジネスにおいて、競争優位性をもたらすために、データの収集・加工・分析に優れた専門性を発揮し、知見を引き出す人材」

<データサイエンティストの位置付け>

研究会として定義したデータサイエンティストは、これまで様々な局面で定義されて来たデータアーキテクト、データスチュアード、データアナリストなどを包括するような人材像となった。

下図は、データを活用する機能情報関連を示したものである。



添付資料 2

<データサイエンティストの職務/タスクの定義/求められる知識とスキル>

データサイエンティストの職務は、ビジネス視点で価値ある知見を導き出すことである。その観点でインプット・プロセス・アウトプットを機能的に分解し、下図に示すような職務1～4を定義した。

また、職務を個々のタスクへと落とし込み、求められる知識とスキルについては、育成プログラム概要を設定する上で必要最低限の検討を行った。

職務1. 顕在的、潜在的課題を掌握して目的を明確にし、データ活用プランを作成し実行管理する

職務1のタスク	1.1 目的を具体化し、明確にする
	1.2 目的達成のための作業設計を行い作業計画を立てる
	1.3 作業の実行を管理する
■知識	■スキル
1K1 経営の知識	1S1 戦略立案スキル
1K2 業界の知識	1S2 IT活用スキル
1K3 業務の知識	1S3 プロジェクト管理スキル
1K4 マーケティングの知識	1S4 コミュニケーションスキル
1K5 ITの知識	
1K6 分析のための知識	
1K7 プロジェクト管理の知識	

職務2. 職務1で設定した目的達成のために必要なデータを収集する

職務2のタスク	2.1 必要データを策定する
	2.2 必要データの収集のための設計を行い、計画を立てる
	2.3 必要データを収集する
■知識	■スキル
2K1 業務の知識	2S1 データの収集/整理スキル
2K2 ITの知識	2S2 大規模データ、特殊データの処理基盤スキル
2K3 データの知識	2S3 ITスキル

職務3. 職務2で収集したデータを分析手法に合うデータ、情報に加工する

職務3のタスク	3.1 収集データを評価し加工の必要性や方法を吟味する
	3.2 収集データの加工計画を立てる
	3.2 収集データを加工する
■知識	■スキル
3K1 業務の知識	3S1 データの可視化スキル
3K2 ITの知識	3S2 大規模データ、特殊データの処理基盤スキル
3K3 データの知識	3S3 ITスキル

職務4. 職務2. 職務3で得たデータや情報を分析評価し、知見を導き出す

職務4のタスク	4.1 収集、一部加工されたデータと情報を合目的に分析評価する
	4.2 分析結果を知見として取りまとめる
	4.3 知見を合目的にまとめ提示する
■知識	■スキル
4K1 経営の知識	4S1 戦略立案スキル
4K2 業界の知識	4S2 プレゼンテーションスキル
4K3 業務の知識	4S3 IT活用スキル
4K4 マーケティングの知識	4S4 分析スキル
4K5 ITの知識	
4K6 分析のための知識	

添付資料 3

<データサイエンティスト育成プログラムの概要>

データサイエンティスト育成プログラムは、設定したデータサイエンティストの定義、職務とタスクの定義、職務に必要な知識とスキルから次のように定義した。

「情報サービス関連に携わる人材に対し、データサイエンティストとして、企業経営や事業に対し積極的にアプローチして利益貢献できるように必要な基礎知識を提供し実践できるようにトレーニングを実施するものである。」

特にデータサイエンティストは「データ活用プランニング」を行う人材に着目しており、育成プログラムのガイドラインの骨格になると想定している。

